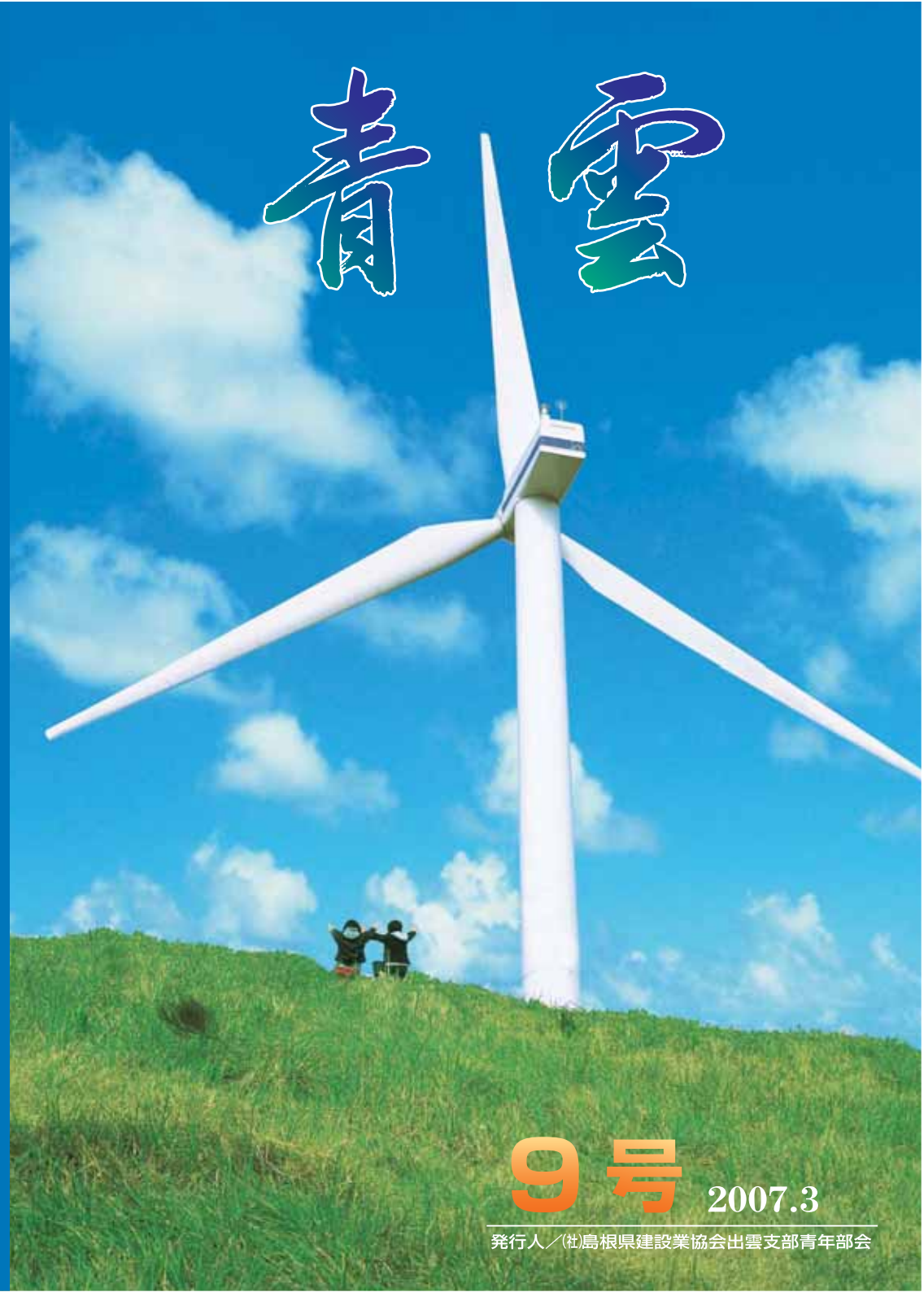


# 青雲



9号 2007.3

発行人／(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会

# 「青雲」

—— 題 字 ——  
島根県知事 澄田信義氏



“風に向かって”  
～ confront the head wind ～

その昔、順風満帆なFollowの風にあおられ、この建設業界は現在の基盤や社会システム構造を確立させた。しかし今、何も考えず、ただ快晴の天空が我々を抱いてくれる時代は終り、新時代への転換期を迎えている。この雄大な風車は、いかなる風をも受けとめ大きく回り続けようとしている。また、その風を自らの力として蓄えようとしている。

我々青年部の若い力は、これからの建設業を取り巻く様々なAgainstの風に対して、この風車の如く立ち向かっていく“志”が必要ではないでしょうか。

青年部メンバーにこの志あれ!!

(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会 広報委員会



## CONTENTS

### 目次

巻頭言/「明日に向かって」	①
(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会長 久文秀典	
平成18年度卒業生より一言	
..... (株)神田工業 新宮正則	②
..... (有)斐川建設 三代啓二	③
..... (株)別所組 岡田好美	④
平成18年7月豪雨災害報告/災害発生時の対応について	⑤
..... (株)岩崎建設 岩崎哲也	
平成18年度事業レポート	
●『国道まるごとクリーンアップ作戦』に参加して	
..... (有)フクシマ建設 福島健治	⑦
●『しまね建設技術展2006』に参加して (株)御船組 御船善弘	⑧
●経営研修会に参加して...中国道路整備(株) 木村和人	⑨
平成18年度新入会員紹介	⑩
ちょっと一息 ～食いしんぼうQ社長の徒然日記～	⑭
(社)島根県建設業協会出雲支部青年部会組織図	⑮
事務局より	⑯
編集後記 <広報委員長/山口 弥>	⑰

## 「明日に向かって」



(社)鳥根県建設業協会出雲支部青年部会  
部会長 久文 秀典

1995年に約80兆円あったわが国の建設市場(民需+公共)は、2005年には53.5兆円まで縮小しました。さらにその中でも公共投資は35.2兆円から19.9兆円へと実に40%超も減少しているのです。もちろん、わが県においてもその傾向は顕著で、一部の地域で災害特需はあるものの逼迫する財政事情によって公共事業費は年々減少し続けています。市場が小さくなっていく→競争が激化する→採算性が悪化する→経営危機→さらに競争激化→さらに採算性が悪化する→…こんな負のスパイラルもいよいよ現実味を帯びてきました。しかしながら、競争の激化とはいったいどの程度のものなのでしょうか。今回はその実状を類推するために、長野県のデータをひもといてみました。

(出所:週刊「エコノミスト」2月13日号より抜粋)

期 間	落札率	県内の動き・建設業を取り巻く環境の変化
2000年10月～2001年 2月	97.7	田中知事誕生、公共工事の見直しに着手、脱ダム宣言
2002年 7月～2002年12月	94.8	田中知事再選、予定価格事前公表、公取委が県と長野市を立ち入り検査
2003年 4月～2003年12月	73.1	予定価格事後報告、公取委が測量設計業務に排除勧告、
2004年 4月～2004年12月	76.0	公取委が不当廉売の警告、工事検査の強化、受注希望型競争入札の本格実施
2005年 5月～2006年 1月	81.3	電子入札の完全導入、大手4社の談合決別宣言、改正独禁法施行

(以下、私見をまとめてみると…)

2003年4月からの競争は完全に常軌を逸しており、1年後には公取委から不当廉売の警告が出されるほどに市場は混乱しています。おそらく、この警告に前後して業者の淘汰もかなり加速し、相当数の業者がリタイアしたものと考えられます。しかし、その後は低入札傾向に歯止めが掛かり、落札率も上昇してきていることから、市場は一転、安定の方向に向かっていくようですが…。

実は、長野県内の建設業従事者の平均年収は2002年から2005年までの間に12.5ポイントも下落しているのです。(金額にすると55.7万円)ということは、低価格受注→経営危機→従業員給与の削減→労務費調査に反映→翌年の設計金額の下落→さらに低価格受注→さらに経営危機→さらに従業員給与の削減→…という、前述の負のスパイラルをさらに細部に亘り検証するような実態が生み出されているのかもしれないのです。(まるで無間地獄のような恐ろしさですね。)

われわれは、この憂うべき先例にかんがみ、決して無為無策に縮小する市場に身をおいてはならないと考えます。今われわれがすべきことは、「どうすれば新しい時代に相応しい企業や業界になれるのか」を論じ、その実現に向かって、戦略的な再編を果たしていくことでありましょう。

## 青年部会を振り返って



(株)神田工業 新宮 正則

私が青年部会に入会したのは設立当初からですので約10年近く前になります。当初と比べて髪も薄くなり、髪も白いものが目立つようになって、つくづく年をとったなーと思う今日この頃です。

青年部会を振り返り、委員会や会合にあまり参加できなかったことで会員の皆様に御迷惑をおかけしましたが、私なりの思い出と言え、やはり国道まるごとクリーンアップ作戦が印象に残ります。最近では夏場に行なわれることから日差しとアスファルトの照り返しとで暑いなんの。ただただボランティアの精神で空缶やゴミを拾いまくりました。また、途中でスクール並みの大雨が突然降り、ずぶ濡れになって行なったこともあり。今となっては良い思い出であり、経験でした。当初は莫大なゴミの量でしたが年々確実に減少してきています。この活動は大変でしょうが青年部会の皆さん、今後がんばって続けてください。

これ以外では、韓国の研修旅行での思い出もあります。といっても現地での思い出ではなく、帰りの飛行機でのことです。台風が日本に接近中であつたにもかかわらず飛んだのです。途中で機長のルート変更するかもしれないと言うアナウンスでビビり、また、客室乗務員さんも急に不時着体制に入ったりで(その様に見えた)、もう生きた心地はしませんでした。結果はルート変更も無く、無事広島に着きましたが、これは二度と経験したくありません。

皆さん、長い間お世話になり、  
ありがとうございました。





## 青年部会を振り返って

（株）斐川建設 三代 啓二

3年前に42歳の厄年を迎えてから入会をさせていただき、新入会員のコメントの原稿を書いたのがつい昨日の日のことようです。気が付いたら今度はもう、卒業の原稿依頼です。ファイルを開いてみたら3年前の原稿がまだ残っていました。在籍したのは3年間でしたが、月日の経つのはとても早いとつくづく感じました。

青年部会の活動にあまり参加できませんでしたが、その中でも特に印象に残っているのは、国道のクリーンアップ作戦です。実際に国道を車ではなく歩いてみて、ごみの多さには少々呆れました。特にタバコの吸殻の多さには喫煙者のマナーを疑うばかりでした。

今後、我々建設業に携わっているものにとってはさらに厳しい環境が待っていると思います。青年部会の中で研修会も開かれましたが、企業合併、新規事業、異業種参入等勉強会に参加させていただき多くのことを学びました。また青年部会の皆さん方と学んだことをこれからの企業経営に活かしていきたいと思っています。これからも青年部会の若い力で鳥根県全体の建設業界を盛り上げていきたいと思っています。

最後になりましたが、役員、事務局、会員の皆様には大変お世話になりました。今後の青年部会の皆様のご活躍と青年部会がますます発展することを祈りいたします。

ありがとうございました。



## 青年部会を振り返って

（株）別所組 岡田 好美

私が、青年部会に入会させていただいてからあっという間に3年がたち卒業する年齢になりました。

青年部会に対してはそれほど役に立った様には思いませんが、私自身にとってはとても役に立ちました。今は経理部門にいるので外に出る機会が少なくなりましたが、営業で外回りをしているときでも顔を知っているか、知らないかで最初の話し方も変わります。また、会員の皆様がいるような立場の方なので、偏った意見ではなく様々な考えを聞かせてもらい、物事は常にひとつではなく10人いれば10通りの考えがあり、同じ数の処理方法があると思うようになりました。おかげで仕事をする上でも先入観や偏見を持たず中正な立場で処理するようになりました。

各種の活動の中で思い出すのは、国道クリーンアップ作戦で54号線を清掃したことです。道にはいろいろな物が落ちているものだと思います。特にタバコの吸殻があんなにもあるのかと驚きました。どのような気持ちで捨てられるのかはわかりませんが、きっとタバコと一緒に地球を愛する気持ちなども捨てているのだろうと思います。

これから青年部会の活動をされる皆様へ。まずはどのような事でも良いので自分自身に対しプラスになる青年部会にしてください。その結果自然に青年部全体も良くなります。今後の益々のご活躍を期待しております。

